



平成 26 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社	住 友 倉 庫
代 表 者 名	社 長	安 部 正 一
		(コード番号 9303 東証第 1 部)
問 合 せ 先	事 業 推 進 部 長	大 庭 弘 継
		(TEL 06-6444-1189)

当社子会社（遠州トラック株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である遠州トラック株式会社が平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の業績予想の修正を別紙のとおり公表しましたのでお知らせします。
なお、本件による当社連結業績予想への影響は軽微であります。

以 上

**JASDAQ**

平成 26 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 遠州トラック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 澤田 邦彦
 (JASDAQ・コード9057)

問合せ先
 取締役常務執行役員管理本部副本部長
 豊田 慶造

電 話 0538-42-1111

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 8 月 5 日に公表しました業績予想を修正することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(金額単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	12,430	320	290	170	22 円 78 銭
今回修正予想 (B)	11,930	220	190	100	13 円 40 銭
増減額 (B-A)	△500	△100	△100	△70	
増減率 (%)	△4.0	△31.3	△34.5	△41.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	12,082	404	353	221	29 円 63 銭

(2) 平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	25,400	830	740	450	60 円 31 銭
今回修正予想 (B)	25,400	730	640	150	20 円 10 銭
増減額 (B-A)	—	△100	△100	△300	
増減率 (%)	—	△12.0	△13.5	△66.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	25,264	884	804	255	34 円 22 銭

2. 個別業績予想数値の修正

- (1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

（金額単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,700	240	200	120	16 円 08 銭
今回修正予想 (B)	10,200	170	130	90	12 円 06 銭
増減額 (B-A)	△500	△70	△70	△30	
増減率 (%)	△4.7	△29.2	△35.0	△25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	10,335	338	297	184	24 円 71 銭

- (2) 平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

（金額単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,900	640	560	340	45 円 57 銭
今回修正予想 (B)	21,900	570	490	30	4 円 02 銭
増減額 (B-A)	—	△70	△70	△310	
増減率 (%)	—	△10.9	△12.5	△91.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	21,532	744	681	157	21 円 17 銭

3. 業績予想数値修正の理由

- (1) 連結業績予想数値修正の理由

当第 2 四半期の連結業績は、営業収益については概ね当初予想に近い数値となりましたが、利益面におきましては、燃料単価の高止まりや乗務員不足等による輸送コストの上昇、これの運賃単価への転嫁が計画通り進展せず、輸送採算が引き続き低迷したことや、前連結会計年度及び当連結会計年度第 1 四半期後半からそれぞれ稼働した二つのセンター業務の安定稼働化が遅れたことなどにより、予想を大幅に下回る結果となりました。

第 3 四半期以降につきましては、最近時の燃料価格の低下や運賃の改定交渉の進展などにより、輸送採算が徐々に改善してくることが期待できるものの、現在見込まれる貨物の取扱量からは当第 2 四半期までの数値差異を挽回することは厳しいものと予想しております。

上記に加え、本日別途開示の「海外連結子会社の清算及びこれに伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、中国の連結子会社を清算することになり、これに伴い、現地従業員の退職一時金の支払いや固定資産の処分等の特別損失 287 百万円が発生する見込みのため、連結当期純利益についてはこれを加味した修正を行う必要があります。

以上のことから、平成 26 年 8 月 5 日に公表しました当第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしました。

- (2) 個別業績予想数値修正の理由
連結業績予想と同様の修正理由であります。

※ 前記の業績予想の数値は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上